

【議事】 推3

(1) 水循環変動観測衛星 (GCOM-W) プロジェクトの事前評価について

JAXA 堀川理事が資料 3-1-1 を用い、第 2 回の部会で説明した物と違うところだけを抜き出して説明した。その後下記のやり取りがあった。

廣澤：小委員会の資料には精度とか配信時間が入っていた。この資料に入っていないのは、審議対象外という意味なのか。

青江：制度・配信時間を含め一体で見たい。堀川理事、資料に入れるようにしてください。

続いて、松尾小委員会主査が、小委員会で議論したこと、評価結果を説明した。「水循環分野の最初の衛星であることは重要な意味を持つ」との言葉で始まり、各評価項目毎（目的、目標、信頼性、実施体制）に、議論した内容と評価結果を報告した。文科省の水藤補佐が後に続き、資料 3-1-2（小委員会の事前評価報告書）の主幹部分（「1. 評価の経緯」から「4. 事前評価結果」）を読み上げながら説明した。更に、水藤補佐が資料 3-1-3（部会の事前評価報告書案で、小委員会報告にこれを前付けして部会報告にする。）を説明して、その後以下の質疑応答が行われた。

森尾：助言の中に「信頼性とコスト低減の議論をした」と書かれている。このほかに寿命を延ばすのもコスト低減になると考える。これも一種のエクストラサクセスと考えて

良いのではないか。

堀川：設計寿命が 5 年である。AMSR も 3 年で設計しているが 4 年目に入っている。エクストラサクセスとしても良いと思う。ただし、設計寿命を 5 年から 10 年に延ばすには、試験を行い時間とお金をかけなければならない。

青江：（これに反応しての発言で、理解が追いつかなかった。）

廣田：シリーズ衛星であることを活かして、是非実りある開発を行っていただきたい。

青江：10 年のまとめ発注は難しいんだそうですね。

廣田：まとめ買いばかりでなく、ほかにも色々の効能が考えられる。

鈴木：外国に立ち向かうことを考えると、共通バスが大切。部品が変わったりして大変かもしれないが、考え方をしっかり確立させていただきたい。

青江：それは一番基本的なことだ。

青江：外にご意見がなければ（案）を取らせて頂くと云うことで、委員会に報告させていただく。